

設立50周年記念 日米文化教育交流会議(CULCON/カルコン) 日本と米国の政府/財界/学界/メディアなど各界の有識者 23名が一堂に会し、日米合同会議を4/10に開催

日米文化教育交流会議(The United States-Japan Conference on Cultural and Educational Interchange:通称CULCON/カルコン)の設立50周年記念 第25回合同会議が、4月10日(火)三菱開東閣(東京・品川)にて開催されます。

カルコンは、日本と米国の政府、財界、学界、メディアなど各界の有識者を一堂に集めて、両国間の文化・教育交流を促進するための方策について討議し、政府や社会に対し必要な施策の提言・勧告を行ないます。1961年6月に池田首相とケネディ大統領により設立され、1962年東京で第1回合同会議を開催、今年は50周年の記念の年となります。



今回の会議テーマは『日米関係の強化に向けた広い意味での教育を通じた未来への投資』

日米関係の将来の安定・発展のためには、市民交流から学術交流までを含めた、広い意味での「教育を通じた人材育成・交流」を強化する必要があることを会議の報告として採択し公表する予定です。

- 日時： 2012年4月10日(火) 9:00-17:15
- 会場： 三菱開東閣 (品川区高輪4-25-33 JR品川駅 徒歩5分)
- 言語： 英語
- スケジュール： 9:00-9:30 開会挨拶 ※取材・撮影可能
9:30-16:20 セッション ※非公開
16:20-17:15 総括・閉会挨拶 ※取材・撮影可能

●第25回 合同会議 テーマ『日米関係の強化に向けた広い意味での教育を通じた未来への投資』●

日本社会全体の「内向き志向」が指摘される中、東京大学が海外との交流強化を念頭に秋入学への移行を発表したり、英語を公用語化する企業が登場するなど、官・民・学を挙げてグローバルに活躍できる日本の次世代を担う若者を育成していく機運が生まれつつあります。また米側でも、ルース駐日米国大使が過去14年間に半減した日本からの留学生の増加を重要課題として掲げています。今回のカルコン合同会議では、こうした一連の日米間の教育交流強化の流れをさらに強化・推進するための方策や解決すべき課題などについて議論を行います。

■カルコン委員 一部 参加者リスト

【日本】	
委員長： 榎原 稔	三菱商事特別顧問(元経団連副会長・日米経済評議会委員長)
中村 芳夫	経団連副会長兼事務総長
安西 祐一郎	独立行政法人日本学術振興会理事長
青柳 正規	独立行政法人国立美術館理事長、国立西洋美術館館長

政府委員： 伊原 純一	外務省北米局長
村田 直樹	外務省広報文化交流部長
北岡 伸一	国際交流基金特別参与、政策研究大学院大学教授 世界平和研究所研究本部長
【米国】	
委員長： ティエリー・ポルテ	ジェイ・シー・フラワーズ営業担当共同経営者
副委員長： マイケル・グリーン	戦略国際問題研究所 (CSIS) ジャパンチェア、ジョージタウン大学准教授
委員： ロバート・フェルドマン	モルガンスタンレーMUFG証券 マネージングディレクター
エレン・ハモンド	イェール大学東アジア図書館長
スーザン・ファー	ハーバード大学教授 (日本政治学)
アン・ニシムラ・モース	ボストン美術館上級学芸員
政府委員： カート・キャンベル	国務省東アジア・太平洋担当国務次官補
アン・ストック	国務省教育文化担当次官補

■合同会議と前後して、関連イベントを実施します。

1. Teach for America 創設者兼 CEO Wendy Kopp 講演会

米国内の学習困難地域に大学卒業生を一定期間教師として派遣し、教育支援を行うとともに、若者の社会経験・人材育成にも貢献するプログラムとして開始された“Teach for America / Teach for All”の創設者であるWendy Kopp氏を招き、通常の教育制度とは異なった市民活動としての教育の可能性についての講演会を開催します。今年1月に発足したTeach for Japan日本版の松田悠介氏も参加し、日本の教育界に新風を吹き込む議論を行います。(※プレス・招待のみ)

- 日時： 2012年4月11日(水) 9:00-11:30
- 場所： ホテルオークラ東京「メイプル ルーム」
(東京メトロ 銀座線 虎ノ門駅 徒歩5分)



●Wendy Kopp (ウエンディ・コップ) プロフィール

1989年 プリンストン大学在学中 TFA モデルの構想を卒業論文にまとめ、1990年に Teach For America を創設。クリントン・センター・アワードやジョン・F・ケネディ・ニューフロンティア・アワードなど多数の賞を受賞。2008年『タイム』誌の選ぶ世界の重要人物100人に選出される

2. 日米高等教育パネル

日米の主要大学の代表者たちが一堂に会し、今後の大学(院)間交流のあり方—教授、学生交流、共同研究から単位・学位の共有に至るまで—を広くに討議し、具体的施策を提言します。(※プレス・招待のみ)

- 日時： 2012年4月9日(月) 10:00-18:00
- 場所： リーガロイヤルホテル東京「エメラルド ルーム」(都電荒川線「早稲田」駅 徒歩3分)

お問合せ： 国際交流基金日米センター(カルコン事務局) 担当：小池、廣瀬
Tel: 03-5369-6072 Fax: 03-5369-6042
E-mail: Wakao.Koike@jpf.go.jp Erika.Hirose@jpf.go.jp